

## 鋼製軽量建具〔標準型建具を含む〕

### 1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章5節に規定する鋼製軽量建具とし、標準型鋼製建具も含むものとする。

なお、開口寸法は、片開き、親子開きおよび両開き戸の1枚の戸の有効開口幅は950mm以下、有効高さは2,400mm以下とする。

### 2. 品質・性能等

- （1）品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- （2）主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- （3）性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

### 3. 標準型鋼製建具

評価の対象とした標準型鋼製建具は、形状寸法および金物の統一化を行い、作業の効率化とコスト縮減などを目的としている。  
なお、品質・性能は、2.（1）によるほか、以下のとおりである。

有効内法寸法	幅	900mm または 950mm
	高さ	2,000mm または 2,100mm
建具用金物	錠 類	シリンダー箱錠
	ハ ン ド ル	レバーハンドル（アルミニウム合金製）
	丁 番	ステンレス製（ただし、鉄芯も可とする。）
	ドアクローザ	露出タイプ

### 4. 名簿の「申請者一覧」に関する注意事項

- （1）簡易気密型の鋼製建具を申請していない場合は、「申請者等情報」の「特記事項」に（簡易気密型を除く）と表示している。
- （2）標準型鋼製建具を申請していない場合は、「申請者等情報」の「特記事項」に（標準型建具を除く）と表示している。
- （3）有効開口幅は950mm以下、有効高さは2,400mm以下としているが、有効高さが2,400mmの鋼製建具を申請していない場合は、「申請者等情報」の「特記事項」に（有効開口寸法はW=950・H=2,100mm以下に限る）と表示している。

### 5. 注意事項

- （1）標準仕様書令和7年版の改定において、「枠類のつなぎ補強板の厚さ：1.6mm以上」との規定が追加されたが、確認していない。ただし、変更申請がなされ、確認済みの場合は、「申請者等情報」の欄に特記事項として、“つなぎ補強板 1.6mm 以上”と表示している。

評価内容（別紙）

鋼製軽量建具【標準型建具を含む】

1

項 目				品 質 ・ 性 能		備 考
材 料	鋼 板 類	鋼 板 の 場 合	材 質	JIS G 3302 または JIS G 3313		
			めっき 付着量	JIS G 3302 による Z06、F06 または JIS G 3313 による E24 を満足するものとする。		
		ビニル 被覆鋼板 の 場 合	材 質	JIS K 6744 により、被覆原板の種類は SG または SE とする。		
			めっき 付着量	JIS K 6744 による Z06、F06、E24 を満足するものとする。		
		カ ラ ー 鋼 板 の 場 合	材 質	JIS G 3312、JIS G 3302 または JIS G 3313		
			めっき 付着量	JIS G 3302 による Z06、F06 または JIS G 3313 による E24 を満足するものとする。		
	く つ ず り		材 質	JIS G 4305 による SUS304、SUS430J1L または SUS443J1		
			表 面 仕上げ	HL		
	上吊り引戸の下枠 (ガイドレール等)		材 質	JIS G 4305 による SUS304、SUS430J1L または SUS443J1		
			表 面 仕上げ	HL		
	召合せ・ 縦小口 包み板等	鋼 板 の 場 合	材 質	JIS G 3302 または JIS G 3313		
			めっき 付着量	JIS G 3302 による Z06、F06 または JIS G 3313 による E24 を満足するものとする。		
		ステンレ ス鋼板の 場 合	材 質	JIS G 4305 による SUS304、SUS430J1L または SUS443J1		
			表 面 仕上げ	HL		
		アルミニウム合金 押出型材の場合		JIS H 4100		
	戸 の 心 材			ペーパーコア、水酸化アルミ無機シートコアまたは発泡材		
	気 密 材 (簡易気密型に適用)			合成ゴム (EPDM、クロロプレン等)、合成樹脂 (塩化ビニル等) の類		
	押 縁 留 付 け 用 小 ね じ			ステンレス製		
	接 着 剤			合成ゴム系、酢酸ビニル樹脂系、エポキシ樹脂系またはウレタン樹脂系		
形状・仕 上げ	鋼 板 類 の 厚 さ		区分	使用箇所	厚さ (mm)	
			枠 類	一般部分	1.6	
				くつずり	1.5	
			戸	表面板	0.6 以上	
				力骨、中骨	1.6	
				召合せ、縦小口包 み板、押縁	鋼 板 : 0.6 以上	
					ステンレス鋼板 : 0.6 以上	
			その他	額縁、添え枠	1.6	
			補強板の類		2.3 以上	

項 目		品 質 ・ 性 能			備 考
形状・仕上げ (続き)	製品 の 寸 法 許 容 差 ・ 相 対 す る 辺 寸 法 の 差	対象部位	ドアセットの寸法	許容差 (mm)	
		幅および高さ	2,000 未満	± 1.5	
			2,000 以上 2,400 以下	± 2.0	
		枠見込	120 未満	± 1.0	
			120 以上 150 未満	± 1.5	
150 以上 200 未満			± 2.0		
200 以上			± 2.5		
対象部位		ドアセットの寸法	相対する辺寸 法の差 (mm)		
幅および高さの 相対する辺寸法 の差		2,000 未満	2 以下		
		2,000 以上 2,400 以下	3 以下		
戸 の 見 込 み 寸 法	35mm以上				
ガラス溝の寸法、形状等	[申請者の規定による。]				
錆 止 め 塗 装	標仕の「表 18.3.5 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗り」の「A種」				
加工・組立	全 般	注 意 点	加工および組立は、以下の内容を標準とし、特に、開閉具合に注意すること。		
		溶 接 部 、 隅 、 角 等	組立後、平滑に仕上げること。		
		溶融亜鉛めっき鋼板の 溶 接 部 、 損 傷 部 等	塗装に先立ち、パテ処理等を行い、平滑に仕上げること。		
		外 観	建具には、使用上有害なきず、欠け、割れなどがないこと。		
	枠 類	枠	隅は、留めとして溶接又は縦延ばし胴付き（面落ち可）溶接とすること。ただし、水掛りを除き、溶接に代えて小ねじ留め（裏板厚さ2.3mm 以上）にすることができる。		
		く つ ず り	縦枠内に納め、裏面で溶接すること。		
		枠類のつなぎ補強板	見え隠れ部に、つなぎ補強板を、両端から逃げた位置から間隔 600mm 以下に取り付けること。		
		金物取合い補強板	枠の丁番、ドアクローザ、ピボットヒンジ等が取り付け箇所には、裏面に補強板を取り付けること。		
	戸	表 面 板	次のいずれかとすること。 1. 心材にかぶせ、接着剤を用いて圧着する。 2. 力骨にかぶせ溶接し、心材を充填する。		
		縦 小 口 包 み 板	[申請者の規定による。]		
		召 合 せ	[申請者の規定による。]		
		金物取合い補強板	錠、丁番、ドアクローザ、ピボットヒンジ等の取り付け箇所及び順位調整器のローラー等が接する部分には、裏面に補強板を取り付ける。なお、順位調整器のローラー等が接する部分及び錠のハンドル等の部分に、へこみ防止の裏板を取り付ける場合の補強板は、厚さ1.6mm 以上の鋼板とする。		

評価内容（別紙）

鋼製軽量建具〔標準型建具を含む〕

3

項 目		品 質 ・ 性 能		備 考			
性 能	ね じ り 強 さ	開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。					
	鉛 直 荷 重 強 さ	残留変位が3mm以下で、開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。					
	開 閉 力	戸が円滑に開くこと、また円滑に閉じること。					
	耐 衝 撃 性	1回の衝撃で有害な変形がなく、開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。ただし、ガラスの破損は判定に含まない。					
	開 閉 繰 返 し	開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。					
	気 密 性 [付帯性能]	<table><tr><td>気 密 性 の 等 級</td><td>A-3</td></tr><tr><td>気 密 等 級 線</td><td>A-3 等級線</td></tr></table> 通気量が JIS A 4702 の図 1 に規定する気密等級線以下であること。		気 密 性 の 等 級	A-3	気 密 等 級 線	A-3 等級線
気 密 性 の 等 級	A-3						
気 密 等 級 線	A-3 等級線						
試 験 方 法	1. ねじり強さ試験は、JIS A 1523 による。なお、載荷荷重は 200N とする。 2. 鉛直荷重強さは、JIS A 1524 による。なお、載荷荷重は 500N とする。 3. 開閉力試験は、JIS A 1519 による。なお、載荷荷重は 50N とする。 4. 耐衝撃性試験は、JIS A 1518 による。なお、砂袋落下高さ：170 mm とする。 5. 開閉繰返し試験は、JIS A 1530 による。なお、開閉回数：10 万回とする。ただし、ラッチの開閉試験は除く。 6. 気密性試験は、JIS A 1516 による。 7. 試験体サイズは、W 950mm × H 2,400mm 程度とする。						